



## インタビュー①

福岡県立嘉穂総合高校  
校長 高山謙一さん

## 教育財産の全てを桂川町へ

現在の総合高校は、ボランティア活動など開かれた学校づくりを通して、地域住民の方との親睦を深めることができたことが、大きな財産となっています。

移転先となるこの桂川町でも、地域から信頼され、活力のある開かれた学校づくりを目標に、本校が中心となり、桂川町の幼・小・中学校との連携を推進していきたい。

また、生徒たちの若いエネルギーで、地域活性化のお役に立てるように努力したい。

桂川町の皆様には、いろいろご迷惑をおかけすることと思いますが、長い目で、温かい心で見守っていただきたいと思っています。

## 桂川町に活気をもたらしたい

先輩たちと団結した体育祭や文化祭など、現在の総合高校にはたくさんの思い出があります。授業で行った田植えや野菜作りも、楽しい思い出の一つです。

私の家の近くに学校ができるので、とても楽しみです。学校ができることで、桂川町に活気が生まれたら、うれしいですね。お店もいっぱいできたらいいなー。

新校舎は、ガラス窓が大きくきれいな印象です。そばにできる新しい農場では、馬をたくさん飼育したいです。

私は結婚しても、この桂川町に住み続けたいと思っていますので、できたら自分の子どもたちにも嘉穂総合高校で学んで欲しいと思います。



## インタビュー②

福岡県立嘉穂総合高校  
2年生 和田愛里さん



現在の進捗率は約15%

4月16日現在、新校舎の目玉の1つである「メディア棟」の建設と基礎工事が進められており、進捗率は約15%となっています。  
ちなみに、メディア棟とは、主にコンピュータを用いた学習の場となる建物です。(高さ約15メートル・3階建)

町の産業の未来を担う

現在、農政を取り巻く環境は、離農者が増え、かつ高齢化が加速的に進んでいる危機的状況にあります。

桂川町も例外ではなく、各地で荒地地などが急増しており、新規就農者への期待は年々高まりつつあります。

未来の農政発展の鍵を握る人材は、この嘉穂総合高校から現れるのかもしれない。

※ 嘉穂総合高校や建設工事などに関するお問い合わせは、嘉穂総合高校(☎28・9470)まで、お尋ねください。

